

## 入国後の待機期間中<sup>※1※2</sup>は、**以下の事項を** **守っていただくようお願いいたします。**

**(感染拡大防止のために検疫法に基づきお願いするものです。)**

※1 入国日の次の日を「1日目」として計算します。

※2 待機期間は原則7日間です。ワクチン接種証明書の所持や、入国後の自主検査で待機期間は変わります。

1. 宿泊場所又は自宅で待機し、他者との接触を行わないでください。  
※検疫法第14条第1項第3号、第16条の2第1項及び第2項に基づく要請です。
2. 公共交通機関を使用しないでください。  
(不特定多数が利用する電車、バス、タクシー、国内線の飛行機 など)  
※入国時の検疫での検査から24時間以内に移動が完了し、かつ自宅等を目的地として最短経路での移動に限り、公共交通機関の使用が可能です。
3. 厚生労働省が指定する入国者健康居所確認アプリをインストールし、入国後の待機期間中は、当該アプリを通じ連絡が来た場合にはスマートフォンのカメラをオンにして、応答してください。健康状態の報告をし、アプリから通知が届いたら位置情報の送信を行ってください。

※ 空港で提出いただいた誓約書に反する場合には、氏名等の公表の対象となり得ますので、アプリからの連絡が2日以上ない場合や、スマートフォンを紛失・破損等した場合は、必ず、入国者健康確認センター (<https://www.hco.mhlw.go.jp/>) にご連絡ください。

メールアドレス：followup@hco.mhlw.go.jp

4. 入国後に有症状となった場合、速やかに「受診・相談センター」に電話連絡し、滞在していた地域を伝え、指定された医療機関を受診してください。
5. 入国後に陽性となり、その発症日が待機期間内であると判断された場合、旅券番号やスマートフォン等に保存した入国後の位置情報を速やかに保健所等に提示するなど、感染症法第15条に基づく保健所等の積極的疫学調査に協力してください。
6. 上記事項に関連して、保健所等から指示や求めがあった場合には、応じてください。
7. 待機期間終了後も、入国後10日間が経過するまでは、検温などご自身による健康状態の確認を行い、リスクの高い場所の利用や会食等を避けてください。
8. 感染を広げないために、下記の感染拡大防止対策を行ってください。
  - ・マスクを着用し、他者に感染させないようにご注意ください。
  - ・手指消毒を徹底し、「手洗い」をこまめに行ってください。
  - ・「3密（密閉・密集・密接）」を避けるようにしてください。

●待機期間経過後に、皆さまが日常生活を送る上での注意点についてはこちらをご確認ください。

### ★厚生労働省ウェブサイト

日常生活で気をつけることや、帰国後、せきや発熱などの症状があった場合の相談窓口「受診・相談センター」を紹介しています。



### ★内閣官房ウェブサイト

感染リスクが高まる「5つの場面」について紹介しています。



新型コロナウイルス感染症に関することでご不明な点がある方は、相談窓口までご連絡ください。

▶ **厚生労働省電話相談窓口：0120-565653**（通話無料、9:00～21:00）